

【笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略】KPI実績及び評価

<資料1>

基本目標等	指標(単位)	基準値 (基準年)	KPI	KPI 設定根拠	実績及び評価					
					平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1. 仕事をつくる										
①地域産業の活性化と働く場の創出										
(1)地域産業の活性化										
①既存企業の支援	1事業所あたり年間出荷額(千円)	461,436(平成25年)	(累計)489,820	基準値から年率1%の増加を目標。	526,942	S	未公表	-(-)	未公表	-(-)
	各種セミナー参加者数(人)	-	年間40	商工会主催・町後援によるセミナーを5年間で年2回開催を想定し、1回に各20名の参加を目標。	年間28	B	年間38	A	年間6	D
②就労環境の充実	町内居住新卒地元就職者数(人)	-	年間35	22歳人口221人×進学率49.9%×就職率96.5%×30%=32人を基準とする。	-	F	-	F	-	F
(2)起業支援										
①新たな事業展開への支援	起業件数(件)	-	(累計)10	1年2件×5年=累計10件と想定。	年間2(2)	S(D)	年間1(3)	B(C)	年間1(4)	B(C)
(3)農業振興										
①魅力ある農業の実現	認定農業者数(人)	2(平成26年度)	(累計)3	増加を目標。	年間0(2)	D(B)	年間0(2)	D(B)	年間△1(1)	D(D)
②農業経営基盤の強化・整備	遊休農地の面積(ha)	1.6(平成27年度)	(累計)0	平成25年度5.6ha、平成26年度6.2ha、平成27年度1.6ha。遊休農地の0を目標。	/	/	年間0.3(1.9)	D(D)	年間△0.5(1.4)	S(D)
	農地の利用権設定件数(件)	38(平成26年度)	(累計)48	1年2件×5年=累計10件と想定。	年間6(44)	S(A)	年間6(50)	S(S)	年間16(66)	S(S)
(4)女性の活躍促進										
①女性の就業推進	女性就業率(%)	58.2(平成22年)	(累計)60	平成22年国勢調査における、15歳～64歳の町内女性就業者数4,314人/15～64歳の女性人口7,413人=58.20%を基準。	61.5	S(S)	61.5	S(S)	61.5	S(S)
	育児休業実施企業(社)	-	(累計)220	平成24年法人数542(平成24年経済センサス-活動調査における個人等を除いた事業所数)×40%(平成23年度厚労省調査における対象企業割合35.6%)を目標。	-(-)	F(F)	-(-)	F(F)	-(-)	F(F)
②女性の起業推進	女性による起業件数(件)	-	(累計)5	1年1件×5年=累計5件と想定。	年間1(1)	S(D)	年間0(1)	D(D)	年間0(1)	D(D)
②魅力ある雇用環境の積極的なPR										
(1)情報発信										
①リクルート情報の発信	ホームページ(リクルート)アクセス数(回)	-	(累計)27,375	15回×365日×5年=累計27,375回を目標。	-(-)	F(F)	-(-)	F(F)	-(-)	F(F)
	説明会参加者数(人)	-	年間30	商工会主催・町後援による説明会を5年間で年1回開催し、年30人の参加を目標。	-	F	-	F	-	F
	相談件数(件)	-	(累計)300	5件/月×12ヶ月×5年=累計300件を目標。	年間77(77)	S(D)	年間26(103)	C(C)	年間21(124)	C(C)
②企業誘致に向けた基盤整備	情報収集数(誘致候補地情報)(件)	-	(累計)5	1件/年×5年=累計5件を目標。	-(-)	F(F)	-(-)	F(F)	-(-)	F(F)

※実績及び評価について、累積値はカッコ内に記載。
 ※評価は、S・A・B・C・D・Fで実施。各達成率は、以下のとおり。S…100%以上、A…99～75%、B…74～50%、C…49～25%、D…24%以下、F…未実施。
 なお、累計で設定されたKPIを年間値で評価する場合、KPIの累計値を5カ年で割り戻して算出。

【笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略】KPI実績及び評価

基本目標等	指標(単位)	基準値 (基準年)	KPI	KPI 設定根拠	実績及び評価					
					平成27年度		平成28年度		平成29年度	
2. 笠松に呼び込む										
①若者・子育て世代の移住定住の促進										
(1)若者・子育て世代の移住定住										
①移住・定住に係る情報の発信	情報発信事業による移住者数(人)	-	年間10	直近5年の平均転入者の約1%を想定。	-	F	-	F	-	F
②町内企業の魅力発信	インターンシップ実施企業数(社)	-	(累計)5	平成24年法人数542×1%=累計5社を想定。	-(-)	F(F)	-(-)	F(F)	-(-)	F(F)
③若者世代の職住近接の推進	三世代同居及び近居支援数(件)	-	(累計)10	2件/年×5年で、累計10件を目標。	-(-)	F(F)	-(-)	F(F)	-(-)	F(F)
④若者の定住の推進	定住促進事業活用による町外者の転入世帯数(世帯)	59(平成26年度)	年間60	基準値を目標値とする。過去実績は、平成22年度24世帯、平成23年度51世帯、平成24年度43世帯、平成25年度35世帯。	年間30	B	年間36	B	-	F
(2)都市基盤の整備										
①秩序ある宅地整備の促進	宅地面積(ha)	287(平成27年度)	(累計)293	1年で1ha程度の増加を想定。			年間5(292)	S(A)	年間2(294)	S(S)
②都市機能の強化	未利用地有効活用数(件)	-	(累計)3	5年で累計3件を目標。	年間0(0)	F(F)	年間0(0)	F(F)	年間3(3)	S(S)
②魅力創出等を通じた交流人口の増加										
(1)交通基盤の整備・利便性の向上										
①快適な生活道路の整備	車歩道分離整備延長(m)	11,850(平成26年度)	(累計)13,200	平成24年度10,530mが平成26年度11,850mまで直線延長。羽島用水上部利用計画1,350mを反映。	年間170(12,020)	B(A)	年間280(12,300)	S(A)	年間264(12,564)	A(A)
	羽島用水上部利用整備延長(m)	870(平成26年度)	(累計)2,340	平成27年度に120m、平成28年度以降1,350mの計画を反映。	年間170(1,040)	B(C)	年間200(1,240)	B(B)	年間264(1,504)	A(B)
②地域を結ぶ地域公共交通サービスの拡充	巡回町民バス利用者数(人)	74,082(平成26年度)	年間80,000	第5次総合計画により設定された目標値。平成21年度は76,501人。	年間77,467	A	年間78,777	A	年間59,583	B
(2)交流イベントの開催										
①観光・交流を促進する基盤の整備	歴史未来館来館者数(人)	7,192(平成25年度)	年間8,600	平成25年度比20%増加。	年間6,753	A	年間11,579	S	年間6,508	A
	支援アプリダウンロード数(件)	-	(累計)5,000	平成27年度にアプリと連動したイベントを実施予定。平成26年度本町通りイベント実績2,850人の2倍程度を想定。	-(-)	F(F)	194(194)	D(D)	649(843)	D(D)
②町の観光資源を活かした魅力づくり	広域連携による観光事業数(事業)	1(なし)	(累計)2	現在、白川町と連携中。更に地方公共団体1団体との連携を目標。	年間0(0)	F(F)	年間0(0)	F(F)	年間0(0)	F(F)
③観光・交流イベントの活性化	新規イベント創出数(件)	-	(累計)5	1件/年として、5年で累計5件を目標	年間0(0)	F(F)	年間1(1)	S(D)	年間0(1)	D(D)

※実績及び評価について、累積値はカッコ内に記載。

※評価は、S・A・B・C・D・Fで実施。各達成率は、以下のとおり。S…100%以上、A…99~75%、B…74~50%、C…49~25%、D…24%以下、F…未実施。

なお、累計で設定されたKPIを年間値で評価する場合、KPIの累計値を5カ年で割り戻して算出。

【笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略】KPI実績及び評価

基本目標等	指標(単位)	基準値 (基準年)	KPI	KPI 設定根拠	実績及び評価					
					平成27年度	平成28年度	平成29年度			
3. ひとを育む										
①安心して産み育てることができる環境整備										
(1)子育て支援の推進										
①子どもや母親の健康の確保、増進	特定不妊治療費助成件数(件)	55(平成26年度)	(累計)275	平成26年度55件の水準を、施策の周知により維持する。平成23年度41件、平成24年度42件、平成25年度38件、平成26年度55件(平均は44件)。	年間44(44)	S(D)	年間31(75)	B(C)	年間9(84)	D(C)
	新生児聴覚検査費用助成件数(件)	182(平成26年度)	(累計)985	平成21年～25年の平均出生数219人/年の90%である、年197人の助成を目標。	年間184(184)	S(D)	年間179(363)	A(C)	年間112(475)	B(C)
②保育・子育て支援サービスの拡充	放課後児童クラブ利用児童数(人)	142(平成26年度)	年間215	開設場所4箇所合計の定員数を目標。	年間162	B	年間185	A	年間203	A
	はしま広域ファミリー・サポート・センター会員数(人)	73(平成26年度)	(累計)120	年約10人増とし、5年後累計120人を目標。実績は平成24年度52人、平成25年度60人、平成26年度73人(累計)。	年間13(86)	S(B)	年間6(92)	B(A)	年間1(93)	D(A)
③地域における子育て支援の推進	子育て支援講座参加者数(人)	1,194(平成26年度)	年間1,400	第5次総合計画により設定された目標値。平成21年度は1,024人。	年間994	B	年間1,000	B	年間930	B
④「生きる力」の育成	ホームステイ参加者数(人)	-	(累計)20	5件/年として、4年で累計20件を目標。	-(-)	F(F)	-(-)	F(F)	-(-)	F(F)
	【グアム】生徒の満足度(アンケート)(%)	93(平成26年度)	年間100	参加者全員の満足を目標。	/	/	年間93	A	/	/
	英検合格者数(人)	-	年間210	中学生701人(H27.8時点)の50%が受験(5級～準2級を想定)し、更にその60%の合格者を目標。	-	F	年間59	C	年間35	D
⑤特色ある環境づくり	町民の国体出場者数(人)	13(平成26年度)	年間15	平成25年度11人、平成24年度34人(ぎふ清流国体)、平成23年度9人より設定。	年間10	B	年間16	S	年間15	S
	【英語教育】子育て家庭の満足度(アンケート)(%)	-	年間70	全体の70%の満足度を目標。	年間90	S	年間89	S	-	F
⑥子育て家庭の防災対策強化	【子育て家庭防災】園児・児童・生徒の満足度(アンケート)(%)	-	年間70	全体の70%の満足度を目標。	年間70	S	年間70	S	-	F

※実績及び評価について、累積値はカッコ内に記載。

※評価は、S・A・B・C・D・Fで実施。各達成率は、以下のとおり。S…100%以上、A…99～75%、B…74～50%、C…49～25%、D…24%以下、F…未実施。

なお、累計で設定されたKPIを年間値で評価する場合、KPIの累計値を5カ年で割り戻して算出。

【笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略】KPI実績及び評価

基本目標等	指標(単位)	基準値 (基準年)	KPI	KPI 設定根拠	実績及び評価					
					平成27年度		平成28年度		平成29年度	
4. 安心なくらしをつくる										
①すべての世代が安心して暮らせる社会の実現										
(1)高齢者福祉の推進										
①高齢者の生きがいづくり	ふれあいサロン・ふれあい喫茶設置数(箇所)	11(平成26年度)	(累計)16	1箇所/年で、5年間で累計16箇所を目標。	年間3(14)	S(A)	年間1(15)	S(A)	年間0(15)	D(A)
	シルバー人材センター新規入会者数(人)	-	(累計)30	6人/年として、5年間で累計30人。	年間7(7)	S(D)	年間19(26)	S(A)	年間9(35)	S(S)
②高齢者の生活を支える支援体制の整備	認知症サポーター養成講座受講者(人)	707(平成26年度)	(累計)1,200	第5次総合計画の中間年見直しと同等。	年間107(814)	S(B)	年間310(1,124)	S(A)	年間112(1,236)	S(S)
③地域福祉活動の担い手の育成	ボランティア、学習活動等の参加人数(人)	846(平成26年度)	(累計)4,250	基準値+aの850人を5年間継続。	年間728(728)	A(D)	年間655(1,383)	A(C)	年間633(2,016)	A(C)
④見守りと支え合いの地域づくり	防災訓練参加人数(人)	4,200(平成26年度)	年間7,000	第5次総合計画の平成32年度目標=参加率35%から換算。	年間2,995	C	年間3,365	C	年間2,759	C
(2)コミュニティ活動の充実										
①コミュニティ活動の活性化	防災士資格取得者数(人)	11(平成26年度)	(累計)45	中津市、高知県香美市KPI≒人口の約0.2%を参考。	年間6(17)	S(C)	年間1(18)	D(C)	年間9(27)	S(B)
②住民によるまちづくり活動への支援	普通救命講習受講者数(人)	565(平成26年度)	年間600	第5次総合計画により設定された目標値。	年間407	B	年間443	B	年間471	A
	協働型町民活動促進事業補助団体数(団体)	27(平成26年度)	年間32	平成26年度比2割増。	年間30	A	年間30	A	年間31	A
(3)健康づくりの推進										
①健康づくりに取り組む環境の整備	健康相談の回数、参加者数(回/人)	69/473(平成26年度)	年間80/850	第5次総合計画の中間年見直しと同等。	年間70/334	A/C	年間70/328	A/C	年間58/329	B/C
	健康教育の回数、参加者数(回/人)	27/1,826(平成26年度)	年間35/2,300	第5次総合計画の中間年見直しと同等。	年間37/3,419	S/S	年間41/3,208	S/S	年間34/3,008	A/S
	特定健診、がん検診受診率(%)	34.3/30.8(平成26年度)	年間45.0/36.0	第5次総合計画の中間年見直しと同等。	年間34.3/31.2	A/A	年間33.0/35.4	B/A	年間34.9/34.1	A/A
②生涯を通じた健康づくり	児童生活習慣病血液検査受診率(%)	96.2(平成26年度)	年間100	小学5年生が対象で、5年生全員の受診が目標。	年間95	A	年間88	A	年間89	A
	【学校給食】児童の満足度(アンケート)(%)	-	年間70	全体の70%の満足度(全量摂取)を目標。	-	F	年間90	S	年間95	S
②誰もが生きがいを持って支え合うことができる社会の実現										
(1)生涯学習・社会貢献機会の充実										
①生涯学習に取り組める環境づくり	公民館利用者数(人)	84,091(平成26年度)	年間92,000	第5次総合計画の平成32年度目標。	年間78,905	A	年間87,076	A	年間55,888	B
	主な体育施設利用者数(人)	96,570(平成26年度)	年間128,000	第5次総合計画の平成32年度目標。	年間79,416	B	年間75,784	B	年間59,299	C
②生涯学習講座受講者数(人)	生涯学習講座受講者数(人)	361(平成26年度)	年間450	第5次総合計画の中間年見直しと同等。	年間372	A	年間555	S	年間396	A
③地域間・都市間で有機的に繋がる社会の実現										
(1)地域資源の連携による回遊性の向上										
①サイクリングロードの整備促進	レンタサイクル利用者数(人)	-	年間350	平成17年に岐阜市にて導入当初の利用者1,663人、平成18年5,597人の6%(人口比)。	年間600	S	年間1,006	S	年間1,379	S
②広域的な連携による観光資源のネットワーク	FreeSpotアクセス件数(件)	-	年間40,000	河川環境楽園来訪者(平成25年4,141,275人)の1%を呼び込み。	-	F	-	F	-	F
(2)地域間連携による共通課題への対応										
①環境にやさしいまちづくり	木曾川クリーン作戦参加人数、団体数(人)	243(平成26年度)	年間300	基準値より2割増。	年間173	B	年間180	B	-	F
②大規模災害対策の推進	災害時応援協定数(件)	26(平成26年度)	(累計)30	増加。	年間1(27)	S(A)	年間2(29)	S(A)	年間1(30)	S(S)
	Wi-Fiスポット数(箇所)	-	(累計)36	町内全指定避難所に設置。	年間6(6)	A(D)	年間0(6)	D(D)	年間0(6)	D(D)
③広域連携の推進	広域連携事業数(件)	53(平成26年度)	(累計)58	年1件増加。	年間0(53)	D(A)	年間0(53)	D(A)	年間7(60)	S(S)

※実績及び評価について、累積値はカッコ内に記載。

※評価は、S・A・B・C・D・Fで実施。各達成率は、以下のとおり。S…100%以上、A…99~75%、B…74~50%、C…49~25%、D…24%以下、F…未実施。

なお、累計で設定されたKPIを年間値で評価する場合、KPIの累計値を5カ年で割り戻して算出。